

・ 松戸判決高裁相手方受任弁護士および団体関係者

この資料は、松戸判決高裁相手方受任弁護士および団体関係者である。

有名な松戸判決（1審）で父親側に親権が認められた。

相手方弁護士は当初は2人であったが、この判決を覆そうと31人の左翼弁護士が集結した。

これらの弁護士は、共産党や旧社会党系の弁護士です。

「自由法曹団」や「日弁連の両性の平等委員会」に属しており、明らかに特定の思想・信条を持っています。

この連中が、実子誘拐ビジネスをやっています。

斉藤秀樹・清田乃り子・蒲田幸代・萩原得誉らは、刑事追訴されています。

こういう人達が、DV防止法の制定に関り、行政に入り込んでいます。

支援措置を悪用して、子供を連れ去らせて家族を破壊して金儲けをしています。

日本では先に子供を連れ去れば、「継続性の原則」で裁判所は連れ去った親にほぼ100%親権を与えます。

1審の松戸判決で父親に親権が認められたため、こういう判例が出来てしまうと連れ去りビジネスが出来なくなるので、それを阻止する目的で、1審の判決をひっくり返しに総動員で対応しています。

これは、リンチです。

刑事追訴されている斉藤秀樹も、有名な連れ去り弁護士である穂積匡史も横浜市男女共同参画推進協議会の委員をやっていました。

本田正男は、川崎市男女共同参画推進協議会の委員をやっていました。

二人とも、日弁連の両性の平等委員会の副委員長をやっています。

また、全国女性シェルターネットの共同代表である、近藤恵子・北仲千里・土方聖子は、政府から委託された「相談者研修会」において「高等裁判所に対する要望署名協力のお願ひ」と題する書面を作成し、研修に参加した不特定多数のものに配布した。

その配布資料の中には、「原告Aさんは、夫からの暴言、暴力、精神的虐待、経済的虐待等から結婚4年後に別居」「高い社会的地位を利用した夫の脅迫行為がエスカレートした」等と書かれており、名誉棄損で刑事告訴されている。

次ページに示します。

・相手方弁護士

控訴人代理人弁護士		(主任)	
	蒲田 孝代	同	萩原 得善
同	福富 美穂子	同	齋藤 雅子
同	宗 みなえ	同	長浜 有平
同	藤 吉 彬	同	原 康 樹
同	清田 乃り子	同	田中 順子
同	渥美 雅子	同	宮腰 直子
同	友松 千賀	同	本橋 瞳美
同	石田 志寿	同	大石 聡子
同	本田 正男	同	湯山 薫
同	坂下 裕一	同	海老原 夕美
同	黒田 典子	同	斉藤 秀梅
同	川本 雄弥	同	原 崇人
同	安田 まり子	同	土田 清子
同	浅田 登美子	同	浜田 薫
同	浜田 脩	同	黒田 昌宏
同	広瀬 めぐみ		

- 当初の相手方代理人（2人）
- 当初受任の東葛総合法律事務所の相手方代理人
- 日弁連両性の平等委員会委員および委員長
- 刑事告訴された相手方代理人（4人）

全国女性シェルターネットの共同代表である、近藤恵子・北仲千里・土方聖子
武蔵大学の千田有紀、NPO 法人フローレンス 代表理事である駒崎弘樹が刑事告訴
されている。

相手方弁護士の経歴についてまとめました。

1 蒲田孝代（当初から相手方弁護士） ←共産党弁護士で刑事告訴されている

東葛総合法律事務所所属

1981年弁護士登録（33期）

千葉県弁護士会会長、日本弁護士連合会理事、関東弁護士会常任理事

経歴

【出身地】

広島県

【学歴】

中央大学法学部法律学科卒業

国際医療福祉大学大学院卒業千葉県弁護士会会長・日本弁護士連合会理事（2014年度）

千葉県弁護士会副会長（2001年度）

千葉県弁護士会松戸支部長（2003年度）

松戸調停協会会長（2012～2013年）

松戸市虐待防止ネットワーク委員（2002～2013年）

柏市民後見人制度等検討委員会委員

流山市個人情報検討会委員

流山市成年後見制度検討委員会委員

流山市情報公開・個人情報保護審査会委員

複数の社会福祉法人の苦情解決第三者委員など多数

役職

松戸調停協会調停委員

NPO法人成年後見センターしぐなるあいず理事長

一般社団法人千葉県権利擁護支援ネットワーク理事長

千葉県権利擁護専門部会委員

流山市虐待防止ネットワーク委員

柏市福祉権利擁護センター運営委員会委員

松戸市社会福祉協議会評議員

周南ふるさと大志

講演・取材実績

松戸市、柏市、流山市、我孫子市などでの講演実績多数

『報道ニッポン』（2006年）

毎日新聞（2010年2月23日号）

千葉日報（2014年8月7日号）

執筆実績

『キルトジャパン』（日本ヴォーグ社）に著作権についての連載
『ホーム・ロイヤー暮らしの法律相談』（第一法規出版）共著

多く取り組んできた事件

労働事件、少年事件、刑事事件、冤罪事件、不動産を巡る様々な事件、交通事故、
学校事故を巡る事件、医療過誤事件、家庭問題を巡る事件、成年後見等事件

2 萩原得誉（当初から相手方弁護士） ←共産党弁護士で刑事告訴されている

東葛総合法律事務所所属

2009年弁護士登録（62期）

経歴

【出身地】

東京都足立区

【学歴】

明治学院高校→明治学院大学→中央大学法科大学院

役職・資格

一般社団法人千葉県権利擁護支援ネットワーク理事

松戸市障害者計画推進協議会委員

柏市自立支援協議会権利擁護部会委員

松戸市・柏市障害者差別解消支援地域協議会委員

ホームヘルパー2級

講演実績

松戸市 市民後見協力員養成講座

柏市 障がい者虐待防止法講座、市民後見人養成講座

3 福富美穂子

東葛総合法律事務所所属

2000年弁護士登録（52期）

経歴

【出身地】

茨城県つくば市

【学歴】

茗溪学園中学校・高等学校卒業

中央大学法学部法律学科卒業千葉県弁護士会副会長（2010年度）

役職
社会福祉法人まつど育成会評議員

弁護団
布川国賠弁護団

4 齋藤雅子

東葛総合法律事務所所属
2002年弁護士登録（55期）

経歴

【出身地】

千葉県野田市

【学歴】

千葉県立東葛飾高校卒業（勉強よりも、合唱祭、スポーツ祭、文化祭・・・イベントに燃えた3年間でした。）

千葉大学卒業（片道2時間の通学を4年間続けました。）

役職
千葉県弁護士会副会長（2016年度）

5 宗みなえ

東葛総合法律事務所所属
2005年弁護士登録（58期）

経歴

千葉県千葉市生まれの八街市育ち。

八街市の公立小学校・中学校を卒業し、千葉県立成東高校を卒業。

早稲田大学法学部卒（「早稲田出身者って変わった人が多いわよねー」蒲田弁護士談）。

役職
千葉県弁護士会松戸支部幹事（2016年度）

6 長浜有平

東葛総合法律事務所所属
2010年弁護士登録（63期）

経歴

【出身地】

神奈川県横浜市

【学歴】

戸塚ふたば幼稚園入園
金沢白百合幼稚園卒園
横浜市立釜利谷小学校入学
横浜市立釜利谷南小学校卒業
横浜市立釜利谷中学校入学・卒業
神奈川県立柏陽高等学校入学・卒業
中央大学法学部法律学科入学・卒業
一橋大学法科大学院入学・卒業

役職

千葉県弁護士会法教育委員会委員
千葉県弁護士会松戸支部市民サービス委員会委員長
千葉県弁護士会松戸支部研修委員会委員
千葉県弁護士会松戸支部子どもの権利委員会委員

7 藤吉彬

東葛総合法律事務所所属
2012年弁護士登録（65期）

経歴

【出身地】

岐阜県岐阜市

【学歴】

岐阜県立岐阜高等学校卒業
京都大学法学部卒業
東京大学法科大学院卒業

役職

千葉県弁護士会外国人の権利委員会
千葉県弁護士会松戸支部高齢者・障がい者センター 委員
同刑事弁護センター 委員

8 原康樹

東葛総合法律事務所所属
2015年弁護士登録（68期）

経歴

【出身地】

大阪府岸和田市

【学歴】

聖母幼稚園卒園（但し、聖書は読んだことはありません）

岸和田市立東光小学校卒業（父と同じ小学校です）

帝塚山学院泉ヶ丘中学校卒業（奈良の有名なお嬢様学校の系列校です）

帝塚山学院泉ヶ丘高校卒業（中高一貫校のため、ぬるま湯でした）

同志社大学卒業（大学入学を機に京都に。鴨川で一人本を読む日々）

明治大学法科大学院卒業（大学院入学を機に東京に。喫茶店で一人法律書を読む日々）

9 清田乃り子 ←旧社会党系弁護士で刑事告訴されている

清田法律事務所所属

1984年に弁護士登録

城西国際大学大学院女性学専攻終了

千葉県男女共同参画苦情処理委員

男女共同参画推進懇話会委員

日弁連両性の平等に関する委員会委員長

千葉県弁護士会両性の平等に関する委員会委員長

NPO 法人 DV 被害者支援活動促進のための基金理事

1993年第40回衆議院議員総選挙に日本社会党から出馬し落選

「離婚後の養育費1.5倍に」日弁連、新たな算定方式を提言

「9条と24条改憲がねらう「戦争する国」と、それを支える「家族」とは」

10 田中順子

清田法律事務所所属

11 渥美雅子

渥美雅子法律事務所所属

NPO 法人 DV 被害者支援活動促進のための基金理事長

2005年男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰

家族、相続、DV（ドメスティック・バイオレンス）などの問題を得意

12 宮腰直子

ふなばし法律事務所所属

2001年弁護士登録

千葉県弁護士会 両性の平等に関する委員会 委員

13 友松千賀

船橋本町法律事務所所属

2012年 弁護士登録

14 本橋瞳美

船橋本町法律事務所所属

2012年 弁護士登録

15 石田志寿

目黒イリス法律事務所所属

16 大石聡子

船橋第一法律事務所所属

千葉県弁護士会 両性の平等に関する委員会 委員

船橋市男女共同参画推進委員会会長

離婚を含め家族関係に関わる事件を多く手がけている。

17 本田正男

川崎合同法律事務所所属

1998年 弁護士登録

日弁連両性平等委員会委員

神奈川県人権擁護委員会 両性平等部会部会員

神奈川県男女共同参画の推進対策検討ワーキングチーム委員

川崎市成年後見制度連絡会メンバー

かわさき子どもの貧困問題研究会代表

神奈川ジェンダーフリーネット

日弁連面会交流及び養育費等の問題に関するワーキンググループ事務局長

川崎市DV被害者支援基本計画策定検討委員会委員

川崎市男女平等推進審議会委員

横浜市男女共同参画審議会委員

横浜市DV施策推進会議委員

福島原発被害者支援かながわ弁護団

フェリス女学院大学（女性の権利と法）非常勤講師

財団法人横浜男女共同参画推進協会 男女の人権相談課 専門相談員

(2007年～2012年)

著作

「Q&A 弁護士のための面会交流ハンドブック」
「離婚と子どもの幸せ」- 面会交流・養育費を男女共同参画社会の視点から
考える
(明石書店) 2011年 [日本弁護士連合会 両性の平等に関する委員会 編]

18 湯山薫

川崎北合同法律事務所所属
2007年 弁護士登録
日弁連両性平等委員会委員
横浜弁護士会両性平等部会委員
自由法曹団女性部事務局長
自由法曹団事務局次長
川崎市男女共同参画センター運営委員

19 坂下裕一

新埼玉法律事務所所属
1995年 弁護士登録
埼玉弁護士会副会長
法テラス埼玉副所長
埼玉弁護士会両性の平等委員会委員長

20 海老原夕美

海老原法律事務所所属
さいたま弁護士会 会長 平成25年度日本弁護士連合副会長 **自由法曹団**
日弁連両性の平等委員会委員長 「子どもの人権埼玉ネット」の代表
『オール埼玉総行動』の呼びかけ人
・埼玉 海老原夕美弁護士 本当に人のこころがわかつちやいない。
[https://blogs.yahoo.co.jp/zero923914/37545652.html?
__yjsp=5rW36ICB5Y6f5rOV5b6L5LqL5YuZ5omA](https://blogs.yahoo.co.jp/zero923914/37545652.html?__yjsp=5rW36ICB5Y6f5rOV5b6L5LqL5YuZ5omA)

㊦ 黒田典子

海老原法律事務所所属

(1) DV 防止フォーラム

日時：11月19日（日曜日）13時00分～16時00分

会場：埼玉県男女共同参画推進センター（With You さいたま）

内容：講演・シンポジウム「モラル・ハラスメント配偶者にであったら」

講師・パネリスト：

白川 美也子氏 (精神科医・臨床心理士)

黒田 典子氏 (弁護士)

熊谷 早智子氏 (「家庭モラル・ハラスメント」(講談社)著者)

② 齊藤秀樹 ←刑事告訴されている

みなと綜合法律事務所所属

平成7年 弁護士登録

略歴

昭和37年生まれ

神奈川県鎌倉市出身

一橋大学法学部 民事訴訟法竹下守夫ゼミ

卒論のテーマ「訴えの提起が不法行為を構成する場合」

修習 47期広島修習

平成7年 弁護士登録

取扱分野

離婚 (DV、モラハラ含む)

ストーカー被害

債務整理

医療過誤事件

遺産相続

役職

鎌倉市固定資産評価審査委員会委員

鎌倉市建築等紛争調停委員会 会長

公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会 性別による差別等の相談 専門
相談員

日弁連 両性の平等に関する委員会 副委員長

日弁連 家事法制委員会

日弁連 弁護士業務における情報セキュリティーに関するワーキンググループ

神奈川県弁護士会 人権擁護委員会両性の平等に関する部会長

医療事故情報センター理事

神奈川医療問題弁護団事務局長

元横浜市医療安全相談アドバイザー

元横浜地方裁判所医療訴訟関係協議会委員

元神奈川県精神保健福祉審議会

元横浜市男女共同参画審議会

元横浜市市民局嘱託弁護士

元神奈川県弁護士会 綱紀委員会

活動

横浜地方裁判所委員会オブザーバー（平成21年5月21日）

横浜家庭裁判所委員会オブザーバー（平成27年6月2日）

執筆

「裁判例からみた面会交流調停・審判の実務」（加除出版）「あとがき」担当

「子ども中心の面会交流」（加除出版）第10章担当

㉓ 川本裕弥

ときわ綜合法律事務所所属

平成22年 弁護士登録

子どもの権利委員会委員

㉔ 原崇人

柏の森法律事務所所属

平成20年9月 弁護士登録

松戸市高齢者虐待防止ネットワーク委員会委員

日本司法支援センター（法テラス）扶助審査委員 等

㉕ 安田まり子

安田まり子法律会計事務所所属

【所属】

第一東京弁護士会

【経歴】

1977年 女子学院高等学校卒業

1981年 早稲田大学法学部卒業

1985年 弁護士登録

1991年 安田まり子法律会計事務所開設

1992年 税理士登録

第一東京弁護士会人権擁護委員会委員(2008・9年度委員長)

同両性の平等部会部会員（～2015年度 部会長）

日弁連両性の平等委員会委員（2016年度 委員長）

日弁連人権擁護委員会委員（2006・7年度、2016年度～ 副委員長）

東京入国管理局難民審査参与員（日弁連推薦）

中野区法律相談員

東京ウィメンズプラザDV相談相談員

東京都配偶者暴力対策ネットワーク会議委員（～2015年度）

法テラス東京審査委員

⑳ 土田清子

安田まり子法律会計事務所所属

【所属】

第一東京弁護士会

【経歴】

2002年 都立日比谷高校卒業

2007年 國學院大學卒業

2010年 駒澤大学法科大学院卒業

2011年 弁護士登録

第一東京弁護士会人権擁護委員会

関弁護士連人権擁護委員会委員

日弁連両性の平等委員会委員

駒澤女子短期大学 日本国憲法 非常勤講師（2013年～）

破産管財人（2014年～）

㉑ 浅田登美子

二宮・浅田法律事務所所属

平成15年 広島家裁依頼退官

日弁連両性の平等に関する委員会副委員長

㉒ 浜田薫

楓法律事務所所属

昭和44年（1969年）東京生まれ。

東洋英和女学院高等部3年生在学中に、アメリカ合衆国フロリダ州に1年間留学。

帰国後、早稲田大学法学部に入学し、平成5（1993）年に卒業。

平成7（1995）年司法試験に合格。

平成10（1998）年4月より横浜合同法律事務所にて弁護士活動を始める。

痴漢えん罪事件に関わり無罪を勝ち取った経験がある。

刑事事件の他、離婚事件、労働事件（労働者側）、医療過誤事件（患者側）、

消費者事件（消費者側）、高齢者・障害者問題等、

幅広く市民の立場から事件に携わる。

㉓ 浜田脩

楓法律事務所所属

昭和8年（1933年）東京生まれ。東京大学法学部卒業。

東京都庁勤務を経て昭和43年弁護士登録。

元第一東京弁護士会副会長、元東京都労働委員会公益委員。

平成16年春叙勲（旭日小綬章）。

一般民事事件（不動産事件、交通事件等）、
家事事件（遺産分割事件等）を数多く手がける。

⑩ 黒田昌宏

楓法律事務所所属

平成5年（1993年）中央大学法学部卒業

平成5年から12年（2000年）まで電機メーカー関連会社総務部門勤務

平成21年（2009年）専修大学法科大学院修了

平成22年（2010年）新司法試験合格

平成23年（2011年）司法修習（新第64期）修了 弁護士登録

⑪ 広瀬めぐみ

広瀬めぐみ法律事務所所属

学歴

1991年3月 上智大学外国語学部英語学科卒業

職歴

稲葉・広瀬法律事務所 広瀬めぐみ法律事務所 平成20年10月～同24年9月 東京家庭裁判所非常勤裁判官職 平成24年4月～ 東京簡易裁判所調停委員 平成24年10月～ 東京家庭裁判所家事調停委員

資格

英検1級

講演・セミナー

2010年4月 第二東京弁護士会 倫理研修セクハラ研修講師

2010年10月 世田谷区男女共同参画センター 女性の労働問題についての講師

2010年12月 狛江市役所 セクハラ研修講師

2011年9月 第二東京弁護士会 定例研修「家事手続の基礎について」講師

2011年10月 大宮ロースクール「家事事件の手続について」講師

2012年3月 第二東京弁護士会 定例研修「家事事件の基礎について」講師

2012年10月 大宮ロースクール「家事事件の手続について」講師

2014年7月 法務省人権擁護局管理職対象のDV法の実情と運用講義毎年行っています。

所属団体・役職

2009年4月 第二東京弁護士会 子供の権利委員会委員

2009年4月 第二東京弁護士会 両性の平等委員会

2010年4月 日本弁護士連合会 両性の平等委員会

今回刑事告発された民間NPO代表についてまとめました。

1 全国女性シェルターネット

共同代表である、近藤恵子・北仲千里・土方聖子が刑事告発されている。
全国女性シェルターネットは、日本キリスト教婦人矯風会の傘下団体である。
数年前まで、住所は新宿区百人町2丁目23番地です。
日本キリスト教婦人矯風会の住所と同じです。
慰安婦捏造をやっている矯風会の傘下の組織が家族破壊をやっています。

2 武蔵大学の千田有紀

千田有紀は、上野千鶴子の弟子で、フェミニストである。

3 NPO 法人フローレンス

代表理事である駒崎弘樹が刑事告訴されている。